



おうみ とらいじんくらぶ
近江渡来人倶楽部

ハ ビジョン ジュン
代表 河 炳 俊 氏

1948年、大津市生まれ。75年、社団法人・大津青年会議所で社会開発運動に取り組むとともに、84年に理事長に。大韓国民団大津支部団長を経て、96年から本部総務部長。00年、近江渡来人倶楽部代表に就任。

「近江渡来人倶楽部」を発足されたきっかけについてお話しください。

「近江渡来人倶楽部」の設立は2000年です。ネーミングは別として構想を5年ほど前から練り、2年ほど前から具体的準備段階に入っていました。

50年前に本国へ帰らずに日本に残った70万人程度の韓国・朝鮮人は、過去に受けた偏見・差別に対して少なからぬ「恨」を鬱積させていると思うんです。そして自分たちは日本社会に順応して生活も文化も全て日本風に進めている。しかし、心だけはそうであってはならないとか、ありたくないとか、そういう思いでいるのです。

そういう現実を見たとき、在日韓国・朝鮮人は、本当に「これからどう進んでいくべきなのか」ということが自然に問題として浮かんできたんです。これが、私が5年ぐらい前に、「これではダメだ」という結論に達した大きな要因なんです。このままでは、在日韓国・朝鮮人は、不幸な歴史を背負ったまま、日本の社会にも入れず、本国にも行けぬままになってしまふ。それでいいんだろうかと考えたのです。もちろん時代も変わりました。今は3世でさえ、歴史的事実を知っている人も少なくなっています。大抵の人は、日本社会で1世や、あるいは2世の高年齢者が受けたことを知りませんから、「日本に居てなんで、日本が悪いとか、嫌とか言わなあかんの」という感覚を持っています。

私も皆によく、「確かに過去の歴史はそういうことだった。しかし、これから先を見るとときに絶対ネガティブじゃなくポジティブにものを考えないといけない」と話すのです。というのは、我々のほとんどが「日本に永住」というスタンスだし、本国に帰る人は0に等しいのです。

こんな現状認識や問題意識が根底にあって試行錯誤の末、2000年にこの組織を立ち上げたのです。

「近江渡来人倶楽部」のスタンスは？

既に公表していますが、渡来人倶楽部のスタンスは、「将来を見通したビジョンを持ち、それを打ち出す組織でなければならぬ」と思っています。日本社会とも仲良くし、韓国・朝鮮に対しても、同じように、是々非々で、日本の悪いところは悪い、良いところは良いと言う態度を堅持していきたいと思っています。

会則にも二つのことをうたってます。一つはネガティブに考えずに「日本の社会で生きていく」という前提で考えていこう。「日本の社会に生きて、日本の社会に貢献して行こう、という気持ちを持っている人間ですから、日本社会からも排除されないように訴えていこう」と。外国人として、我々が線引きしていないんですから、日本人と同じように、日本がよくなるように考えているんだから、差別・偏見をしないでちょうだいと。「フィフティフィフティでいきたい」ということです。では、日本がよくなるためには何をするのか。例えば、日本が間違った方向へ行くのであれば、僕たちも言うべきだ。「外国人だから言う権利が無い」じゃなくどんどん言うべきだ。

日本が国家として、国際社会の一員としてどう進んでいったらいいのか、他国からあだこうだと言われる、お金を一杯だして世界に貢献しているのに、おかしいじゃないか…普通ならそうですね。そういうことの総括も含めて僕らは「近江渡来人倶楽部」という一つの組織として発信していかないといけないのじゃないかなと思っています。

日本のあり方というものを、「グローバルスタンダードで、尚かつ日本というアイデンティティを持った国家として作っていかないといけないのじゃないか。ややもすると、批判されているからこっ

ちの道に行こうか、では駄目です」と提言する。そういう役割もすることで、日本人と日本社会をよくしていくと考えています。

同じ日本をみつめているんですからね。

そうです。今やグローバル化の時代なんです。だから「渡来人倶楽部」は過去に拘るより未来志向でありたい。次の世代がどこの国籍をもっている、日本の社会の一員として心豊かに過ごせるように、というのが私の願いです。

ところが気がかりなのは、今度は、他の外国から来られた方、その方たちへの問題が大きくなりつつあることです。

いわゆるニューカマーですね。

バブル以後、数十万人という日系人を中心とした出稼ぎ労働者が入ってきた。しかもその人たちの定住傾向が強くなってきている。そんな時代、グローバル化していく時代に、次世代が心豊かに、自然に、偏見・差別を受けずに、それぞれ暮らしていける社会に早くしないとイケない。その為には、今、我々がアクションを起こしておかないと遅くなると思うのです。

日本人には、これから日本に住もうとする移住者にとって優しい国であってほしいと訴えたいです。まして親、おじいさん、おばあさんは日本人であったというような日系の人が沢山来ているじゃないですか。そういう人を排除してどうするんですか。

ですから日本社会は単一民族だというような時代錯誤なことは言わないでほしいし、あたかもそれが良いような風潮はまかり通らないようにしてほしい。

これは、日本人にも在日にも言えることですが、「殻を破らなきゃいけない。」と申し上げたい。自分たちが一番良いのだとか、これで良いのだという発想をなくして、もう少し世界の歴史を勉強し、世界と日本がどういう位置関係にあるのかを勉強したら良いのではないかなと思います。

まだやっと一年、緒に就いたばかりですが手を携えて一緒に頑張っていきたいと思っています。

ありがとうございました。